

感染症に気をつけよう!

2015年【9月号】



横浜市内の感染症 流行状況

感染症	流行状況		説明
手足口病	 流行	 減少	ピークが過ぎても、引き続き注意してください。咳のしぶきや便からうつるので、予防には手洗いが重要です。【2013.8号】
腸管出血性大腸菌感染症	 流行	 横ばい	O157(オーイコナ)等に汚染された物を口にすることで感染します。例年10月頃までは報告が多いです。【2015.8号】

【 】は解説付き既刊号 ← クリック

今、気をつけたい感染症 腸管出血性大腸菌感染症



市内の焼肉店でO157による食中毒が発生しました!

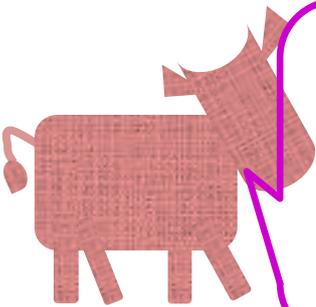
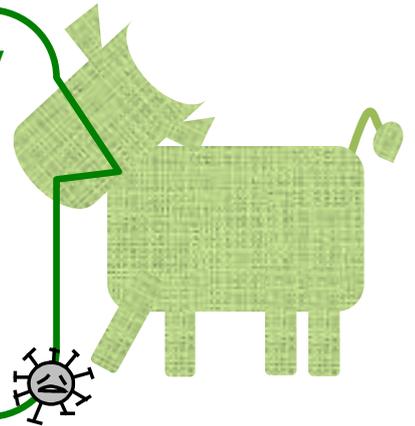
O157に汚染された物を食べると感染します。

生肉に使ったはしには、菌が付いているかもしれません。

生肉と焼いた肉を扱うはしは、使い分けましょう。

この菌は熱に弱いので、肉は中心部まで75℃1分間以上、

よく加熱すれば安心して食べられます。



家族内での感染も起きています!

O157は食べ物からだけでなく、感染した人の便で汚れた物を介して、他の人へもうつるため、家庭での感染予防は手洗いが大事です。

下痢をしていたら、タオルは他の人とは別にしましょう。

トイレの掃除は、ドアノブなど手でさわる所は特に注意。



乳幼児や高齢者は重症になりやすいです!

食べ物による感染 と 人から人への感染 の、両方に注意が必要です。もし症状が出てしまったら、自己判断で下痢止め薬を飲まないで、早目に受診してください。

